



1. 活動日時：2015年5月23日（土） 10:00～15:00

2. 参加者：5名（社友GS 4名 現役GS 1名（田平さん））

3. 活動内容

- 今回は、常連の方々にそれぞれ所用があり、参加者5名と言うコンパクトな活動になりましたが、メイン作業の「フクロウの巣箱の総点検」「記念樹ゾーンと多目的広場の草刈り」「竹林の状況確認」は予定通り終わることが出来ました。
- フクロウの巣箱の確認作業は今回で終了。次回（6月13日（土））のSGC活動日には全て撤収し、今年の反省を踏まえ、10月に予定している再設置に向けて改造・整備計画等を纏めます。
- 記念樹ゾーンと多目的広場の草刈りは、1ヶ月前の4月25日に行ったばかりですが、また元通りに伸びていましたので4台の刈払機と鋏で刈込み、再びスッキリさせました。
- 竹林は、今年食べられずに残った竹が少なく、竹林の老化が進んでいることが判りました。古い竹の除伐を進める一方、肥料を撒く程度の育林活動を行う必要があります。
- 活動頂いた5名のGSの皆さん、お疲れ様でした。

■フクロウの巣箱の最終確認。

林内に設置した5個の巣箱を一つずつ確認しました。



- 巣箱は、記念樹ゾーンの展望台の近くに、取組のシンボルの意味を含めて一カ所、自然林内に2ヶ所、自然林と植樹ゾーンの境界部分に2ヶ所の合計5カ所に設置しています。
- 今年の活動で分かった課題は、カラス対策、巣箱の入口の位置と大きさ、内部監察カメラの数と取付位置、3台の外部観察カメラの設置位置の4点ですが、最も難しいのはカラス対策です。
- きしわだ自然資料館の風間学芸員の話では、カイツブリの雛が被害に合ったとのことですし、西垣さんの話では、フクロウも例外ではなく、大阪府の他の地区でも、雛の巣立ちが遅れるなどの影響が出ているようです。

■記念樹ゾーンと多目的広場の草刈り。

4 台の刈払機と鋏がフル回転した結果、再びスッキリしました。



- 右の写真は、刈り込みを終え、ほっと一息ついた5名のGSの皆さんです。お疲れ様でした。
- 今年は5月から気温が高く、また雨もしっかり降ると言う気象状況が続いたためか、雑草は、刈って1ヶ月目とは思えないくらい伸びていました。
- この状態が続くと、草刈りは、毎月のルーチンワークになりそうです。

■竹林の状況確認。

新しい竹は、出ていても細く、力が有りません。竹林の老化は着実に進んでいます。



- ①：作業道から上の斜面。ここは竹の皆伐を目標に進めていますから、むしろ出なくて良かったのですが、全く出なかったのは今年が初めてです。
- ②：上記の斜面と作業道の縁に出た竹。破竹の様です。
- ③：作業道から下の竹林ゾーンの沢筋。新しい竹は2～3本です。混み合っていますから古い竹から順に除伐します。
- ④：画面左が竹林。メンバーが歩いているのは遊歩道ですが、荒れて危険なので通行禁止になっています。  
：中央の3本の竹は、遊歩道を潜って出て行った竹ですが、勢いが有りません。むしろ植林されたクヌギ・コナラ・モミジ・ヤマザクラが密林状態に育っていて、以前見えたPLの塔も全く見えなくなっています。



<倒壊・薪置き場>

- ・ぐらついていた薪置き場の屋根が倒壊していました。
- ・立て直そうと思いましたが、屋根材のトタンが錆びついて穴が開いていたので、次回屋根材を揃えて架け替えということになり、薪に直接雨が掛からないように被せておきました。
- ・幅120cm、奥行270cmですから長尺の波板2枚で済みますが、素材は寿命の長い塩ビ網入りか、タキロンの強化波板、又はポリカタフ等の樹脂系を使いたいと思っています。



以上